



# 特集 長浜市消防団

## VOLUNTEER FIREFIGHTERS

自分の街は  
自分で守る。



### 消防団の特徴

常勤の地方公務員として消防署に勤務する消防職員と異なり、消防団員は火災や大規模災害発生時に、自宅や職場から災害現場などへ駆けつける非常勤(特別職)の地方公務員です。消防団には、次の特徴があります。

#### 1 地域密着性

管轄区域内に住居または勤務し、地域のことを熟知している消防団は、地域に密着した効果的な消火活動・救助活動を行います。

#### 2 動員力

全国的に消防団員数は消防職員より多く、消防職員数の約5倍といわれるスケールを活かし、少人数では対応しきれない事案に対応することが出来ます。

#### 3 対応力

自分が住むまち、そして大切な人が住むまちを守りたい。現在、その思いをカタチにしている消防団員が、日々、技術や知識を蓄え、経験を積み重ね、いざというときにその力を発揮します。

消防団員は、東日本大震災や大規模災害で、消火活動、要救助者の捜索、救助活動、給水活動、避難誘導など、幅広い活動に従事しました。地域に密着した日頃の活動経験を活かして、倒壊家屋から数多くの人々を救出するという活躍もあり、地域密着性や大きな動員力を有する消防団の力が発揮されました。

今後の大規模災害への備えはもちろん、地域の安心・安全の確保のためには常備消防職員に加えて、地域を熟知し、訓練により日頃から対応力を培っている消防団員の存在が、さらなる地域の安心・安全に繋がるのです。

緊急時の活動だけじゃない、  
地域の安全を見守る消防団員！

平時においても、消火活動や救助活動だけではなく、火災を起こさないための警戒巡視や、応急手当の知識や技術などをより多くの人に習得してもらったための普及活動など、安全で安心なまちづくりのため、さまざまな活動を行い、コミュニティの活性化にも大きな役割を果たしています。

近年は、女性の消防団員も増加しており、応急手当の普及指導など積極的に活躍しています。



### 消防団とは

その地域に「住んでいる」「働いている」人によって構成される市町村の消防機関。一人ひとりが、それぞれの仕事を持ちながら“自分たちのまちを、自分たちで守りたい”という心で、全国で約89万人、市では約1,800人が活動を行っている。

[長浜市の方面隊数と分団数]

方面隊数：10方面隊(長浜西方面隊、長浜東方面隊、浅井方面隊、びわ方面隊、虎姫方面隊、湖北方面隊、高月方面隊、木之本方面隊、余呉方面隊、西浅井方面隊)

分団数：32分団